

授業科目名： 教育相談	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 芳川 玲子・土岐 玲奈 担当形態： オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>授業テーマ：学校における教育相談の意義と理論の理解</p> <p>1) 学校における教育相談の意義と課題を理解できる。 2) 教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解できる。 3) 学校教育相談の実践的課題と対応について理解できる。</p>			
授業の概要			
令和4年に改訂された『生徒指導提要』では、教育相談について、「個人の資質や能力の伸長を援助するという発想」に基づき、「児童生徒が将来において社会的な自己実現ができるような資質・能力・態度を形成するように働きかけること」と説明されている。本科目では、教員として幼児・児童生徒や保護者に対する教育相談を行うにあたって必要となる諸要素について学ぶ。			
授業計画			
<p>第1回 ガイダンス（担当：芳川） 第2回 教育相談の必要性と意義（担当：土岐） 第3回 学校におけるカウンセリングの理論（担当：土岐） 第4回 カウンセリングの技法（担当：土岐） 第5回 教育相談におけるアセスメント（担当：芳川） 第6回 幼児期の発達課題と教育相談（担当：芳川） 第7回 児童期の発達課題と教育相談（担当：芳川） 第8回 思春期・青年期の発達課題と教育相談（担当：芳川） 第9回 学校における諸課題と対応：①不登校（担当：芳川） 第10回 学校における諸課題と対応：②いじめ（担当：芳川） 第11回 学校における諸課題と対応：③虐待・自殺・自傷（担当：芳川） 第12回 学校における諸課題と対応：④少年非行への対応（担当：芳川） 第13回 校内連携・専門機関や地域との連携（担当：芳川） 第14回 保護者支援と教育相談（担当：芳川） 第15回 キャリア教育と進路相談（担当：土岐）</p>			
スクーリングでの学修			
スクーリング（Webライブスクーリング）では、第5回～第13回の内容を包括的に扱う。			
テキスト			
<p>会沢信彦編著（2019）『教育相談の理論と方法：コアカリキュラム対応』北樹出版、978-4779305986 森田健宏監修（2024）『教育相談第2版』（よくわかる！教職エクササイズ）ミネルヴァ書房、978-4623096114</p>			
参考書・参考資料等			
<p>文部科学省（2023）『生徒指導提要—令和4年12月—』東洋館出版社、978-4491051758 （デジタル資料：https://www.mext.go.jp/content/20230220-mxt_jidou01-000024699-201-1.pdf）</p> <p>「月刊生徒指導」編集部（2023）『生徒指導提要（改訂版）』全文と解説、学事出版、978-4761929220</p>			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			